

めあて 学習した漢字を読んだり、書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を  
ひらがなで書いてねいに書きましょう。

1 台車を押す。

2 顎の筋肉を使う。

3 荷物を載せる。

4 友達と握手をする。

5 稚魚を放流する。

三 次の——線部のカタカナを、漢字で  
書いてねいに書きましょう。

1 母校にキフする。

2 日をアラタめる。

3 マドから見える景色。

4 ザッシを読む。

5 キビしくしかる。

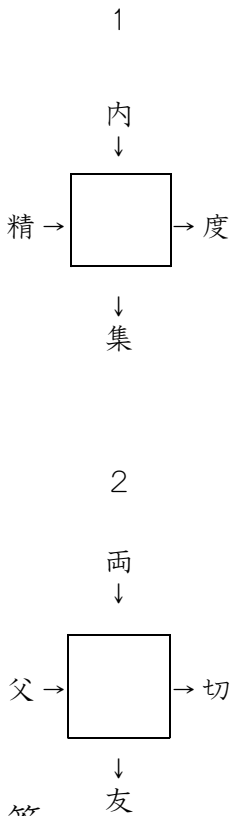
■ 正答

- 二 1 お(す)
- 2 あご
- 3 の(せる)
- 4 あくしゅ
- 5 ちぎよ

- 三 1 寄付
- 2 改(める)
- 3 窓
- 4 雑誌
- 5 巖(しく)

取り組んでみよう!

■ 矢印の方向に読むと、漢字二字の熟語ができます。□に入る漢字を書きましよう。



答え

隣  
乙  
翠  
↓

1

家から駅まで行くのに、はじめは分速150mで  $a$  m 走り、そのあとは分速30mで  $b$  m 歩きました。

このとき、次の式はどんな数量を表していますか。また、その単位を答えなさい。

(1)  $a + b$

数量

単位

(2)  $\frac{a}{150} + \frac{b}{30}$

数量

単位

2

Aさんの家では、屋根にソーラーパネルを設置して、太陽光による自家発電をすることにしました。Aさんは、「発電した電力が消費した電力よりも大きければ、電気代がかからない」と考えました。ある1日の4時間ごとの時間帯とソーラーパネルによって発電した電力、消費した電力、余剰電力（発電した電力－消費した電力＝余剰電力）を調べたところ、それぞれ次の表のようになりました。

この日は、電気代がかかったのか、かからなかったのかを調べる方法を説明しなさい。

ただし、答えを求める必要はありません。

時間帯（時）	0～4	4～8	8～12	12～16	16～20	20～24
発電した電力（kWh）	0	1.34	6.33	5.03	2.27	0
消費した電力（kWh）	1.5	3.2	2.4	1.8	5.9	4.94
余剰電力（kWh）	-1.5	-1.86	3.93	3.23	-3.63	-4.94

※1 kWh（キロワットアワー）は、1 kWを1時間で発電または消費した電力量のことをいう。

3

$x = -3$  のとき、式  $5 - 2x$  の値を右のように計算しましたが、間違っています。

どこが間違っているか説明し、正しく計算しなさい。

計算

$$\begin{aligned} & 5 - 2x \\ &= 5 - 2 - 3 \\ &= 5 - 5 \\ &= 0 \end{aligned}$$

説明

正しい値

4

$a$ 、 $b$ 、 $c$  が  $-5$ 、 $4$ 、 $6$  のいずれかの数であるとき、式  $a - b \times c$  について考えます。

次の問いに答えなさい。

- (1)  $a - b \times c$  の計算の結果が最も小さくなるとき、 $-5$  になる文字を  $a$ 、 $b$ 、 $c$  から選びなさい。

- (2) (1) で文字を選んだ理由を次のように書きました。  に説明を書き、完成させなさい。

&lt;理由&gt;

$a$  が  $-5$  のとき、

$-b \times c$  が負の数になり、計算の結果は、負の数 + 負の数で、負の数になる。

また、 $b$  または  $c$  が  $-5$  のとき、

よって、 (1) が  $-5$  のとき、 $a - b \times c$  の計算結果が最も小さくなる。

〔数学〕中1 組 番 氏名

1 (1)

数量（例）  
 ・ 走った道のりと歩いた道のりの合計  
 ・ 家から駅までの道のり

単位  
m

(2)

数量（例）  
 ・ 走った時間と歩いた時間の合計  
 ・ 家から駅まで行くのにかった時間

単位  
分

2

(例)

余剰電力<sup>よじょう</sup>の合計を求めて、それが正の数なら電気代がかかっていないこと、負の数なら電気代がかかっていることが分かる。

余剰電力の合計を求めること、その結果が正の数か負の数かで判断することが書かれていれば正答です。

3

説明（例）

−2xのxに−3を代入するときに、  
 −2×(−3)としていない。

正しい値  
1 1

「5−2−3」、「−2−3」など、間違っている部分を示していれば正答です。

4 (1)

a

(2)

−b×cが正の数になり、計算の結果は、  
 正の数+正の数で、正の数になる。

一段落目の「aが−5のとき、−b×cが負の数になり、計算の結果は、負の数+負の数で、負の数になる」をもとにして考えることが大切です。

「−b×cが正の数になること」、「計算の結果が正の数+正の数で正の数になること」の2つを書いていれば正答です。